



2018年度 一般社団法人 にんしんSOS東京 日本財団助成金事業完了報告書： 添付資料①事業内容詳細

「にんしん」をきっかけに、
誰もが孤立することなく、自分自身として、
自由にしあわせに生きていくことができる社会へ

「にんしん」にまつわる全ての「困った」、「どうしよう」に寄り添います



妊娠葛藤相談に求められること

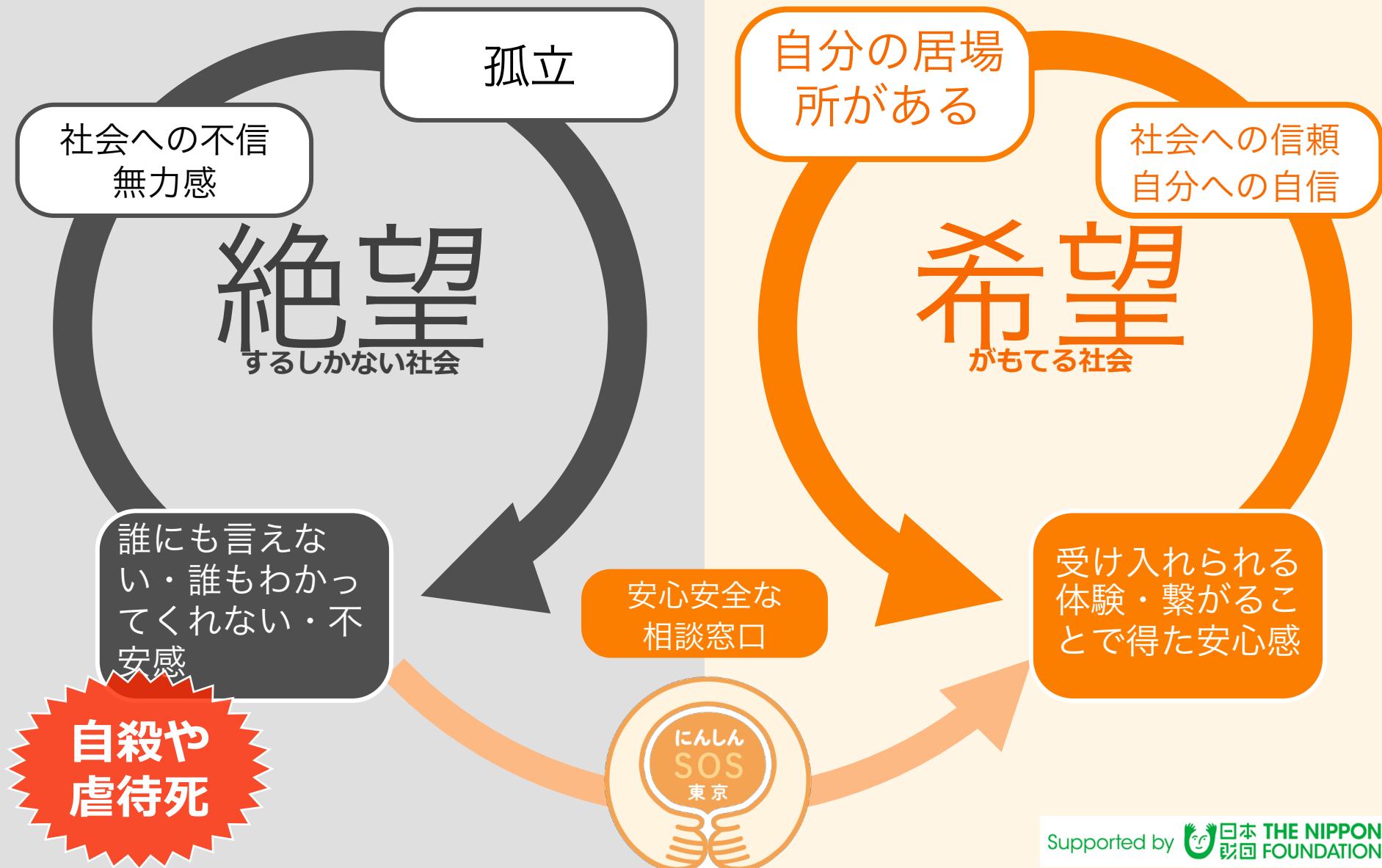
妊娠に悩む時期の支援が大事



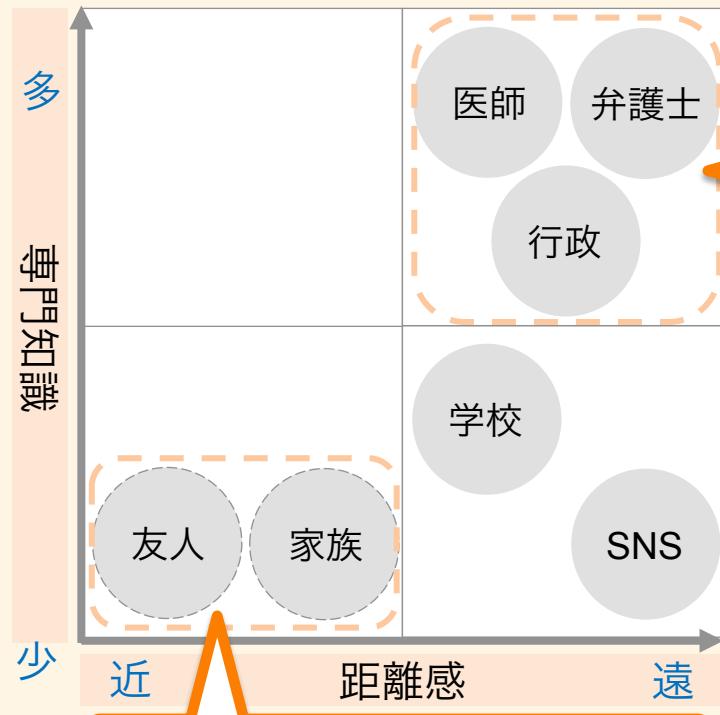
にんしんにまつわる全ての
「困った」、「どうしよう」
に寄り添います

Supported by  日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

匿名で、安心安全で、役に立つ相談先



なぜ悩みを抱え込んでしまうのか？



- 友人・家族には知られたくない
- 専門的なことは相談できない
- 近くに相談できる人がいない

- 心理・物理的に遠くて話せない
- お金がかかるから相談できない
- どこにあるのか、どうやって相談したらいいかわからない

友人・家族に相談できない背景

- 学校や友達に話をするとSNSで拡散される心配がある
- 親から虐待を受けている
- 親には良い子でいたい
- 親が忙しくて相談できない
- 信じてもらえるだろうか
→相談したくても出来ない状況に陥る

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

悩みを相談したくてもできない状況に陥り、一人きりで抱え込んだり、顔の知らないSNSの大人に相談したりしてしまう

よく連絡をくださいました。ありがとうございます。

過去に相談をし、傷つき体験をしていることも少なくない

不安

悩み

中絶したい気持ちにもしっかり寄り添い
思いを聞き切る

助けて



かとう
妊娠葛藤時期

出産を決意したら、
様々な行政サービスを
受けられるよう支援

受診後（母子手帳交付後）

まずは、産む産まない、育てる育てないに関わらず、
相談者の話を聞き、伴走し、一緒に考える

Supported by  日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

相談員の役割-1 相談者自身の力を支える

情報

相談者が必要とする正しい情報や利用可能な社会資源を伝える

ネットワーク

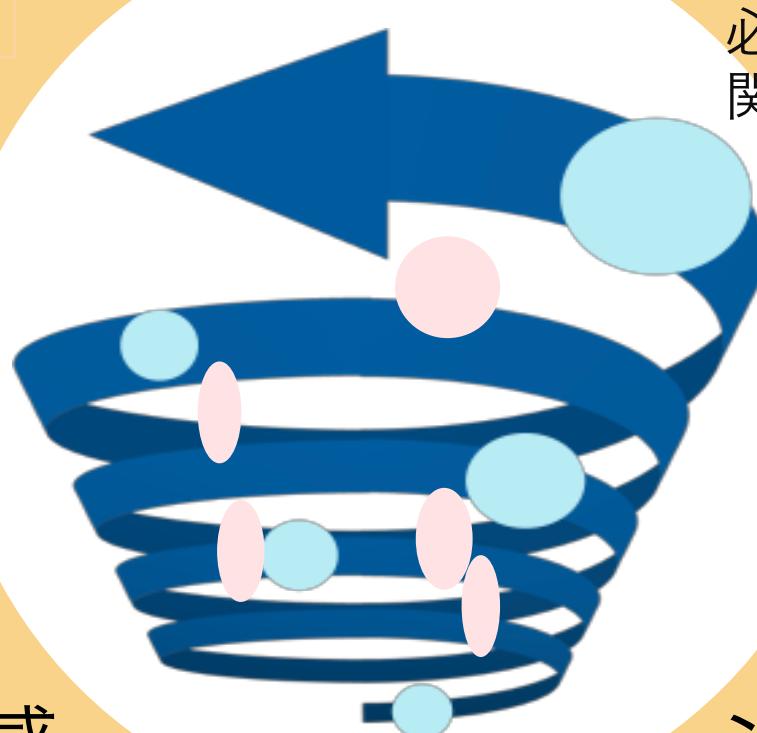
必要な資源や関係機関を探し、繋げる

相談員との信頼関係構築

社会への信頼感

顔が見える関係になる

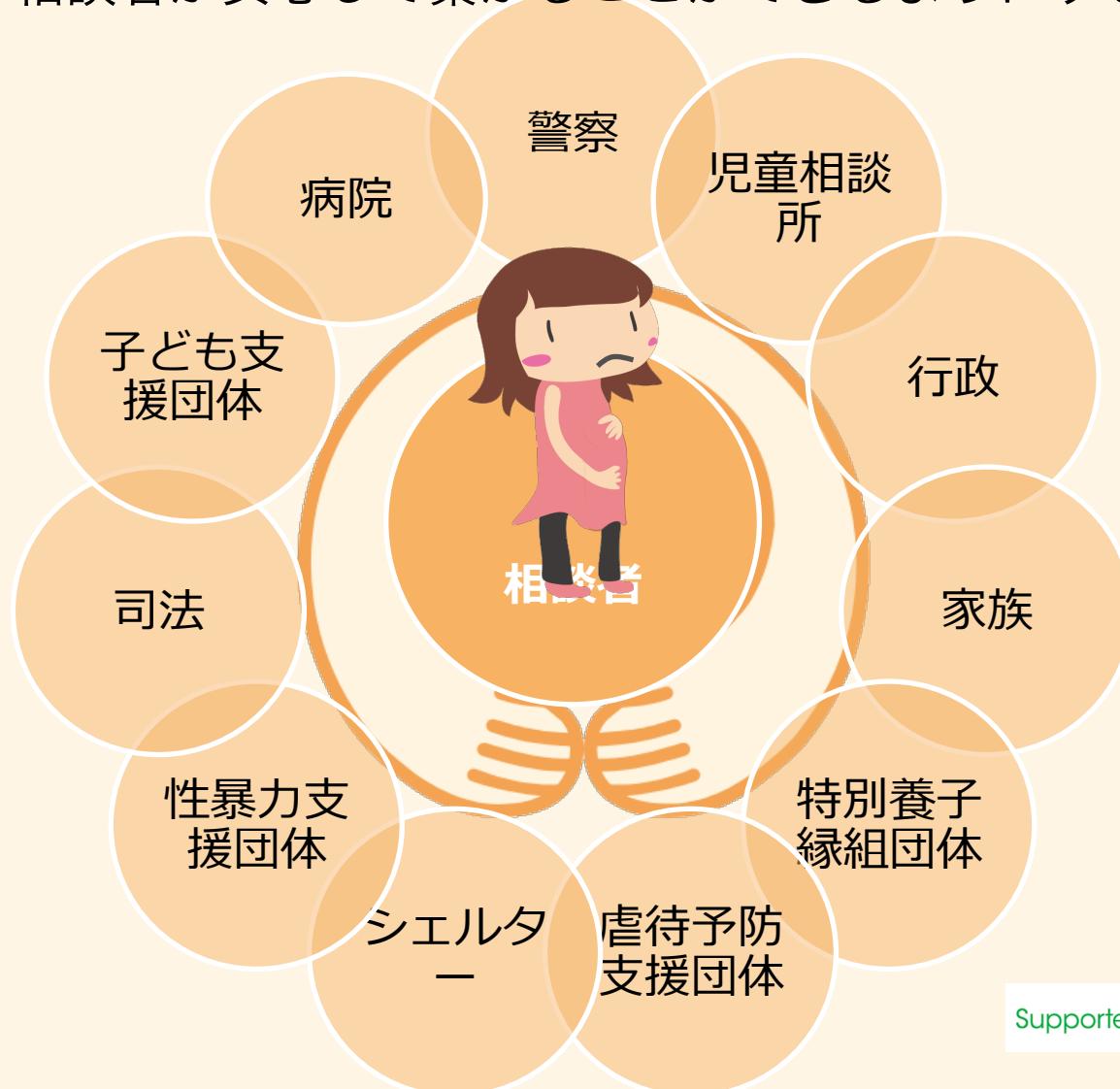
エンパワメントする
ジャッジしない
いてくれるだけでいい



Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

相談員の役割-2 ハブになる

各専門機関と顔が見える関係になり、
相談者が安心して繋がることができるようにする



Supported by  日本 THE NIPPON FOUNDATION

関係機関との連携が必要

キーパーソンを増やす

制度の隙間を埋めることができ
る

丸抱えの支援を防ぐ

本人の力を引き出すことができる



情報ではなくリスクを共有し、
相談先や居場所を確保する

Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION



にんしんSOS東京の取り組み

一般社団法人 にんしんSOS東京 団体概要

代表 中島 かおり

設立 2016年3月（2015年9月任意団体として発足）

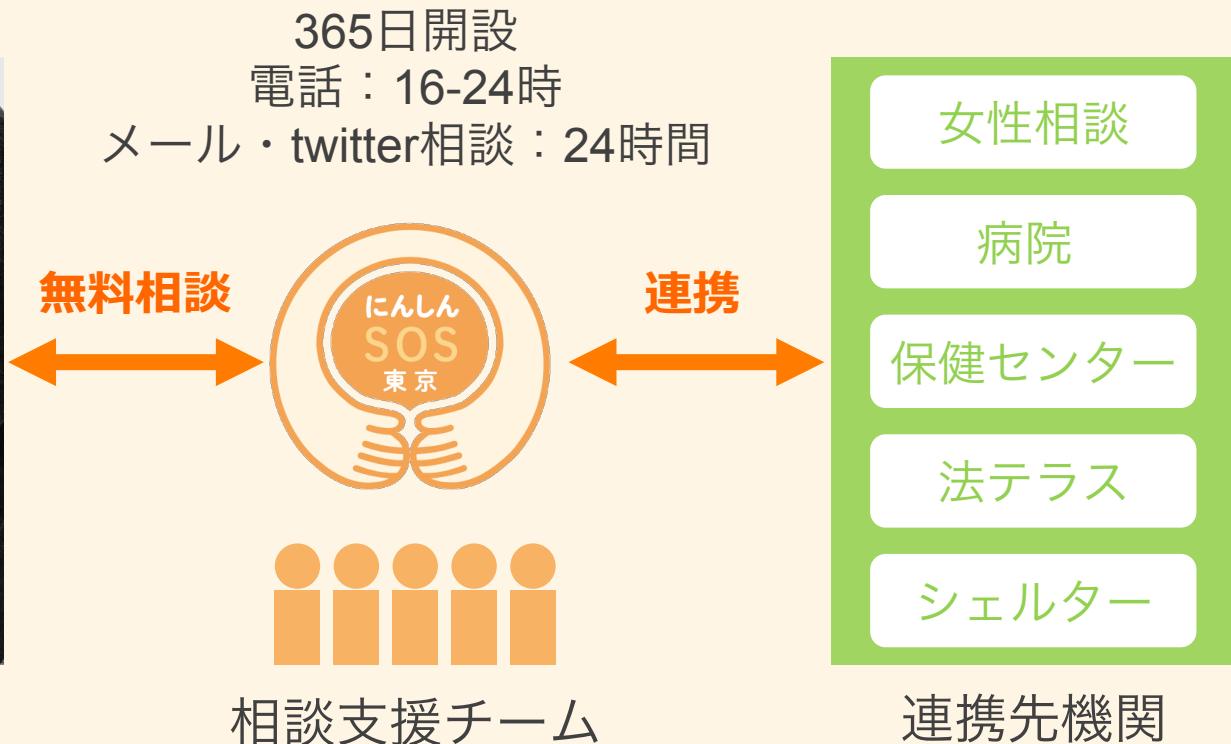
相談員数 22名



事業内容

1. 「思いがけない妊娠」をした女性とその関係者を対象とした継続的相談ができる窓口開設と支援活動の実施。
2. 「思いがけない妊娠」をした女性とその関係者を対象とした情報発信事業。
3. 妊娠・出産に関わる支援者・支援団体向けの教育研修事業。
4. 母子の健康推進事業及びそれに関連する事業。

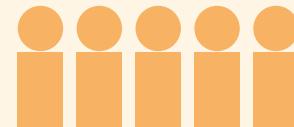
にんしんSOS東京 相談窓口の仕組み



- 相談窓口は**2名体制**
- 必要に応じて、**面会・同行支援**を実施
- 電子カルテシステム**を導入（情報共有）
- コールセンターシステム**を導入
(コスト削減&相談員のリモートワークを実現)

Supported by  THE NIPPON
財團 FOUNDATION

相談窓口のサポート体制



相談支援チーム

コールセンター

電子カルテ

メールワイズ

グループウェア

(システム)
情報共有・リモートワークを実現

相談員MTG

ケースカンファレンス

安全管理研修

勉強会

(QC)
相談員のスキルアップ

シフト管理

採用

育成研修

エンパワメント

(労務)
働きやすい環境の整備・仲間を増やす

業務サポートチーム

Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

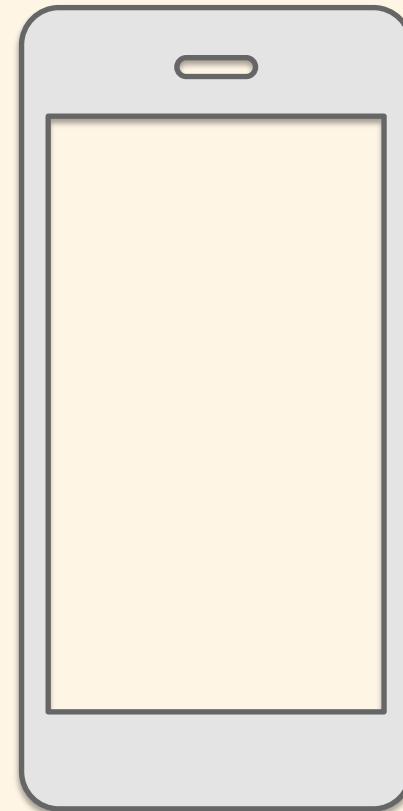
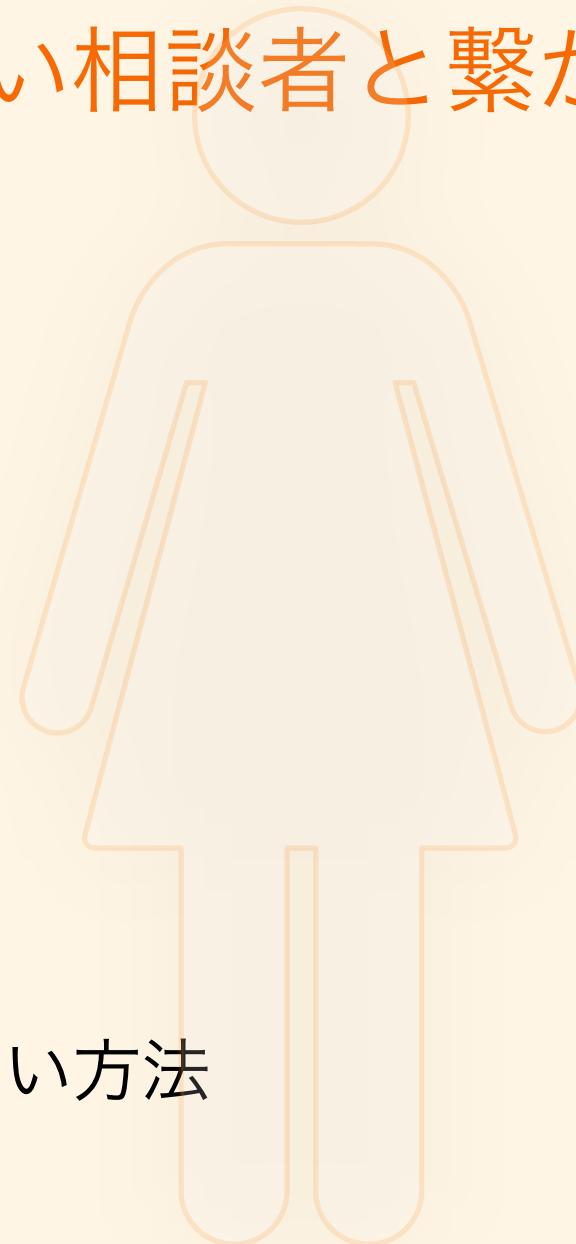
多様な資格を持つスタッフで構成

資格タイプ	人数	医療（産科領域）	福祉	心理・精神
助産師	8	●		
看護師	10	●		●
保健師	5	●	●	
医師	1	●		●
社会福祉士	6		●	●
保育士	3		●	
教員	1		●	
精神保健福祉士	1		●	●
認定心理士	1		●	●

見えない相談者と繋がるために

対象者に合った
入り口を作る

物理的にも
心理的にも
アクセスしやすい方法



Supported by  日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

どのように窓口を知ったか

225

180

10代は
YouTubeから

135

どの年代もネット
検索が多い

90

45

0

15歳未満

15-17歳

18-19歳

20-29歳

30-39歳

40-49歳

50歳以上

■ LINE/Twitter
■ ホームページ

■ YouTube
■ 紹介(その他)

■ カード・パンフレット
■ 新聞・書籍・TV・ラジオ
■ ネット検索
■ 友人知人



相談しやすい入り口



レイプされた… >

産んでも
育てられない… >誰にも
相談できない… >一人で産んで
育てたい… >

にんしんにまつわる全ての
「困った」、「どうしよう」に寄り添います

▼
相談は無料です 秘密は守ります

電話で相談する

050-3187-9870

16:00～24:00 年中無休・相談は無料です

※相談対応中はお電話がつながりにくいうこともあります。番号通知でかけていただいた方には、こちらから折り返させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

メールで相談する …>

通話料無料で相談する

※カケホーダイでない方は、こちらのボタンを押して、出てくる画面の「電話をかける」ボタンを押していただければ、通話料無料で通信料だけご相談いただけます。
ちらからどうぞ。

Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

にんしんSOS東京 Twitter



NPO法人 Child First Lab.作成 You Tube



Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION



にんしんSOS東京 が取り組む 社会課題

日本は、赤ちゃんが
最も安全に生まれる国。

日本の新生児死亡率は、千人当たり0.9人



最近のニュースから

- 2018/8/29 埼玉県坂戸市
 - 駅のコインロッカーから生後間もない乳児の遺体を発見
 - 35歳の母親逮捕
- 2018/9/24 東京都台東区根岸
 - コインロッカーからポリ袋に包まれた乳児の遺体を発見。遺体は4~5年前のもの
 - 49歳の女性逮捕
- 2018/10/3 宮城県仙台市
 - 乳児遺棄事件すでに逮捕・起訴されていた25歳の女性のマンションの部屋から他に乳児2人の遺体を発見
- 2019/1/19 宮城県仙台市
 - 0歳男児にミルクを与えず衰弱死させたとして、28歳の母親を逮捕。「10日前からミルクを買うお金がなく、お湯を飲ませていた」

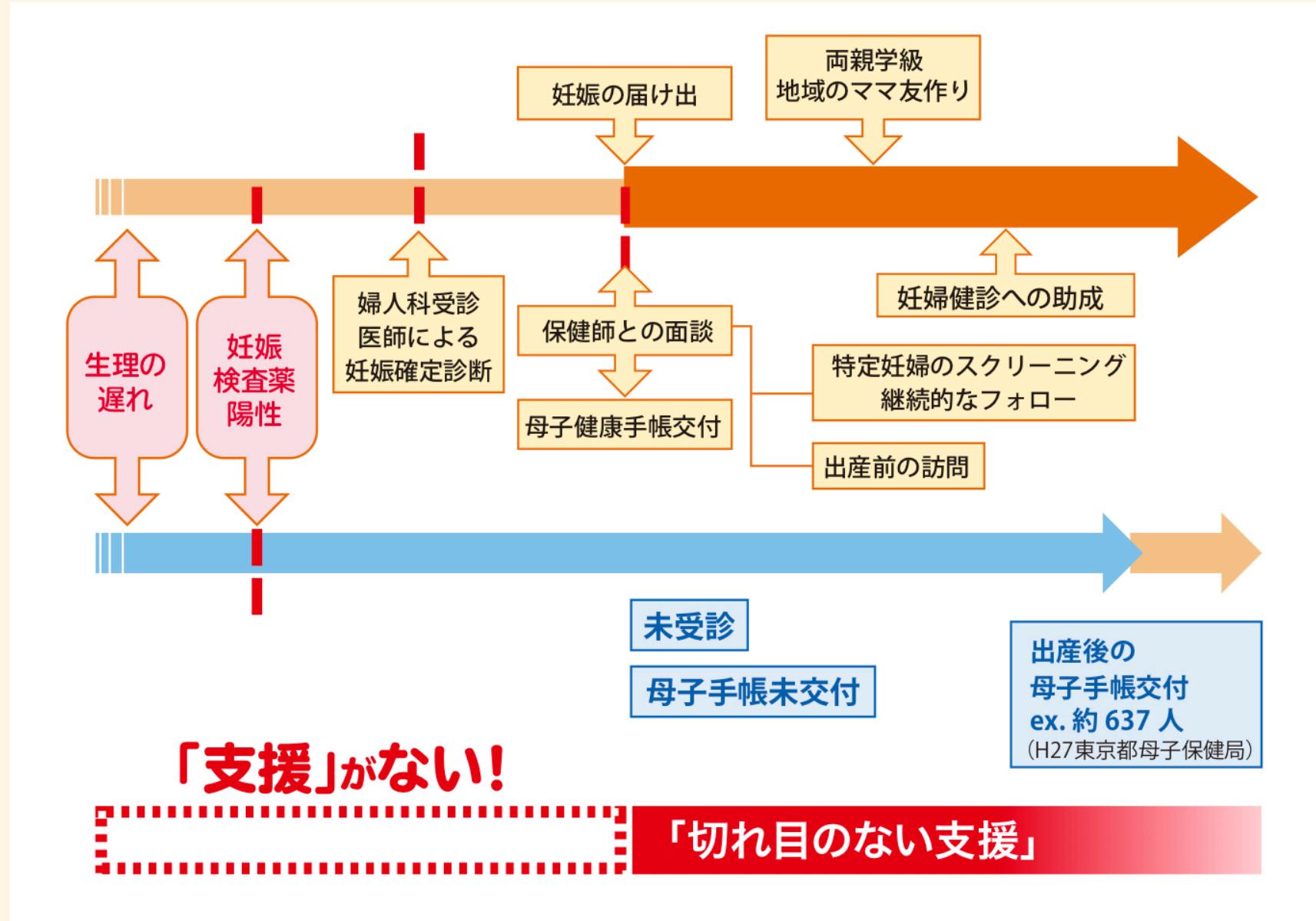
「児童虐待死で
一番多いのは
生まれたその日に亡くなる命」

(49人中11人)

(子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について
(第14次報告))

日齢0日児の事例11人のうち
全ての事例において
母子健康手帳の未交付
妊婦健診未受診

スタートラインはもっと早いほうがいい



特定妊婦とは

出産後の子どもの養育について、
出産前において支援を行うことが特に必要
と認められる妊婦のことをいう。
(児童福祉法第6条2第5項)

「母子保健法ではない・・・！」
「母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及
び増進を図るため・・・」

Supported by  日本 THE NIPPON
FOUNDATION

特定妊婦の背景

- 若年
- 経済的問題
- 妊娠葛藤（思いがけない妊娠）
- 母子健康手帳未発行
- 妊娠後期の妊娠届
- 妊婦健康診査未受診等
- 妊婦の精神疾患
- 支援者の不在
- など

妊婦自身が
要保護児童で
あることも多い

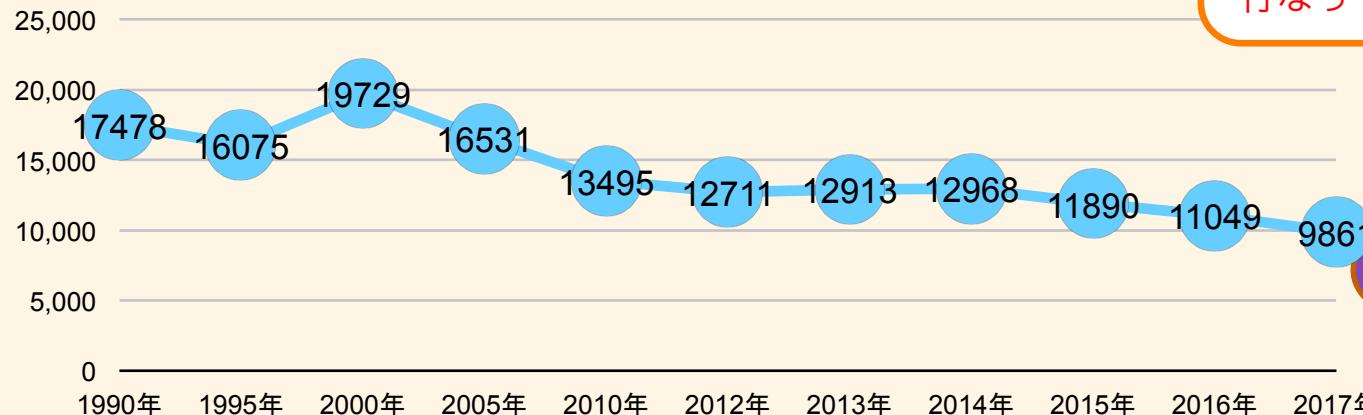


10代の妊娠・特定妊婦の支援

日本では1日に27人が10代で出産している

厚生労働省 平成29年（2017）人口動態統計（確定数）の概況 より

● 出生数_15～19歳(人)



10代の中絶は年間14128（2017年）
1日に39人が人工妊娠中絶を行なっている

● 出生数_14歳以下(人)



14歳以下の中絶は年間
218（2017年）

妊娠に気が付くのが
遅すぎたり、中絶を選択できなかったり
する事情がある

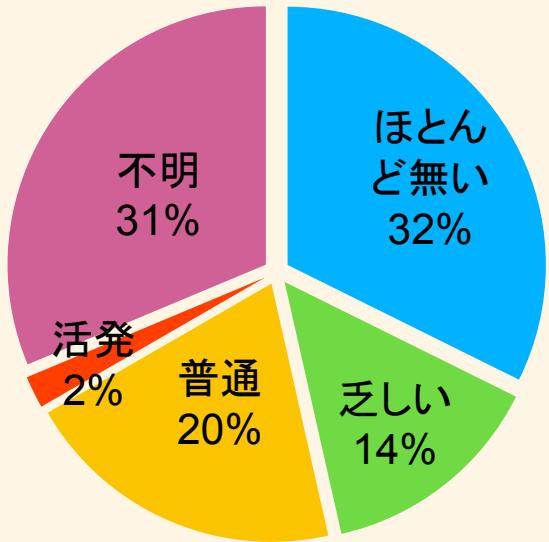
にんしんSOS東京

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

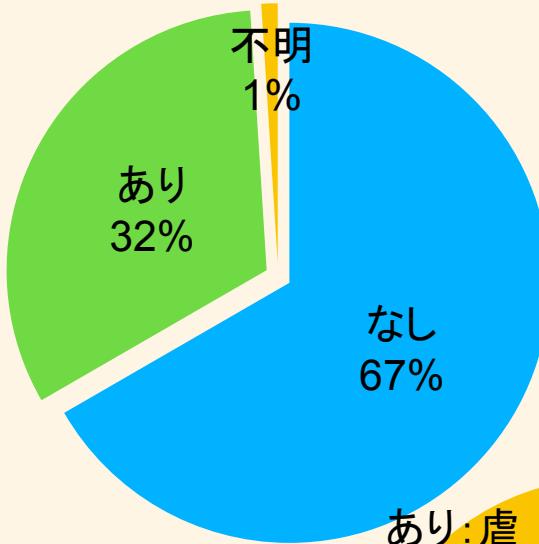
10代の妊婦は社会から孤立している

子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第14次報告）より

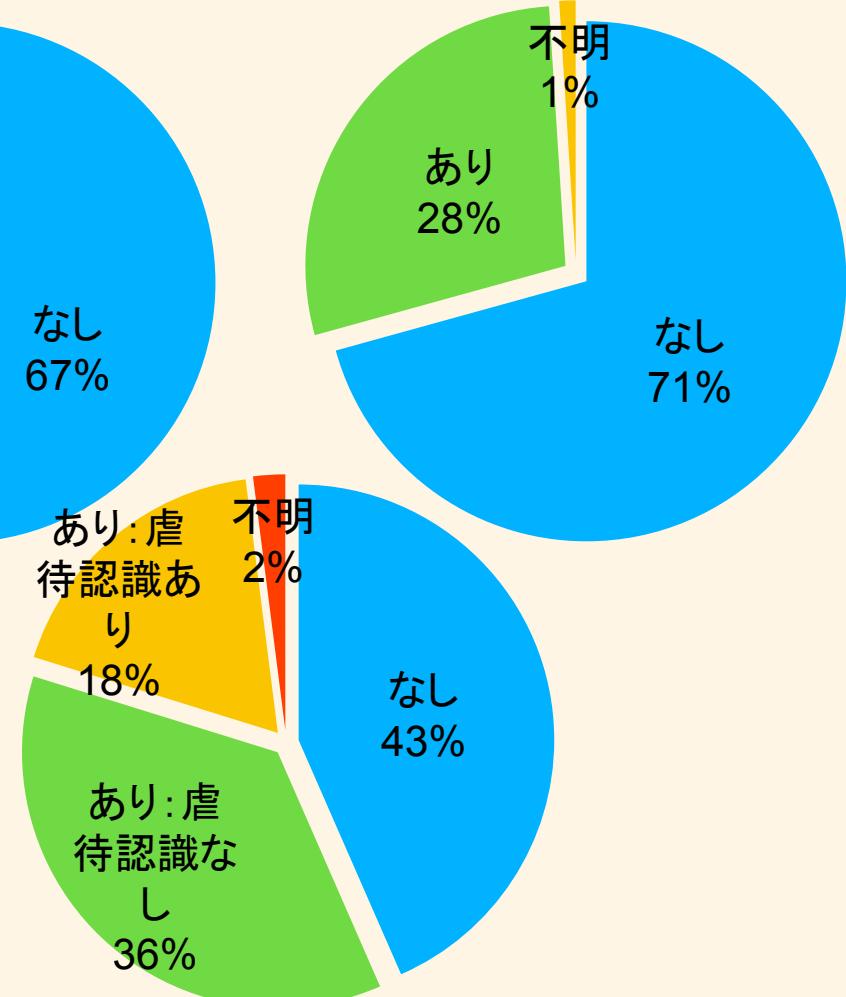
地域社会との接触



児童相談所の関与



市町村（虐待対応部署）の関与



市町村
(母子保健部署)
の関与

分析が可能な、第5次（平成20年度）から第14次（平成29年度）報告までの「若年(10代)妊娠」による虐待死事例99件の検証結果より作成。

Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

妊婦の未受診減へ、 若年・困窮者支援 妊娠判定費を補助 厚労省方針 2018年9月

- 妊娠中に診察や定期健診を受けない妊婦を減らすため、厚生労働省は、妊娠している可能性がある若い女性らへの支援策を増やす方針を固めた。
- 本人が同意した場合は保健師らが一緒に医療機関に行き、医療機関での妊娠判定費用も全額補助する考えだ。
- 2019年度予算の概算要求に盛り込んだ。
- 早ければ来年度にも実施する。

2018年9月18日・朝日新聞より

母子手帳
未発行

妊娠健診
未受診

妊娠葛藤

特定妊婦

若年

経済的
生活困窮

妊娠後期の
妊娠届

精神疾患

支援者の
不在

「妊娠したかも...どうしよう」

女性健康支援センター

妊娠していたが受診する費用がない

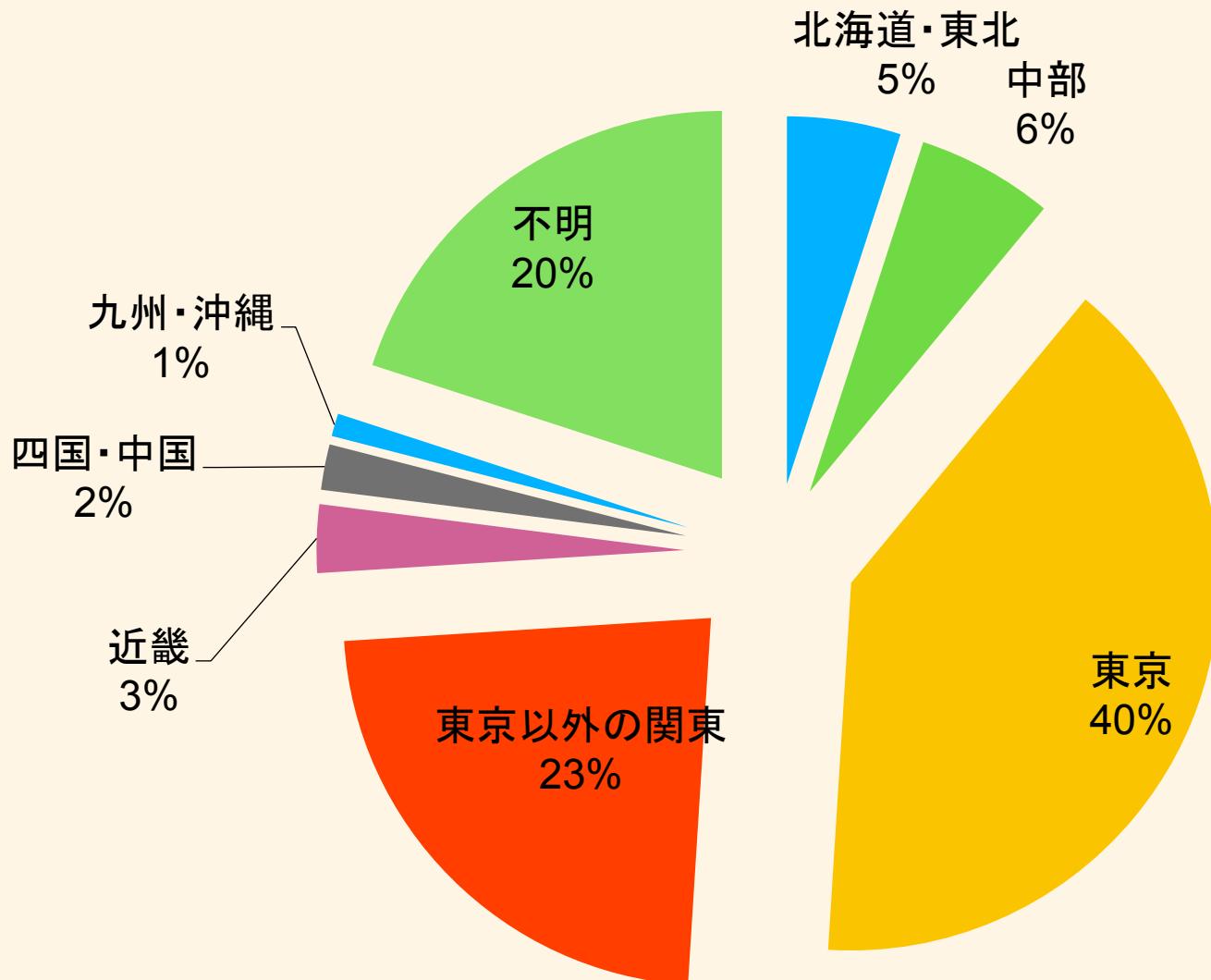
Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

保健師らが医療機関に同行受診 費用は公費（約1万円）



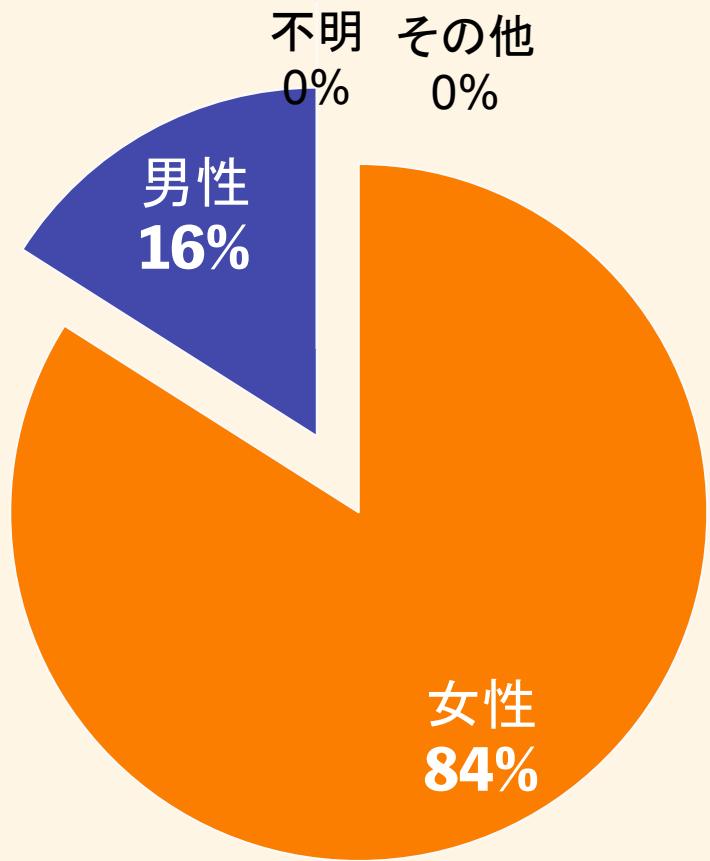
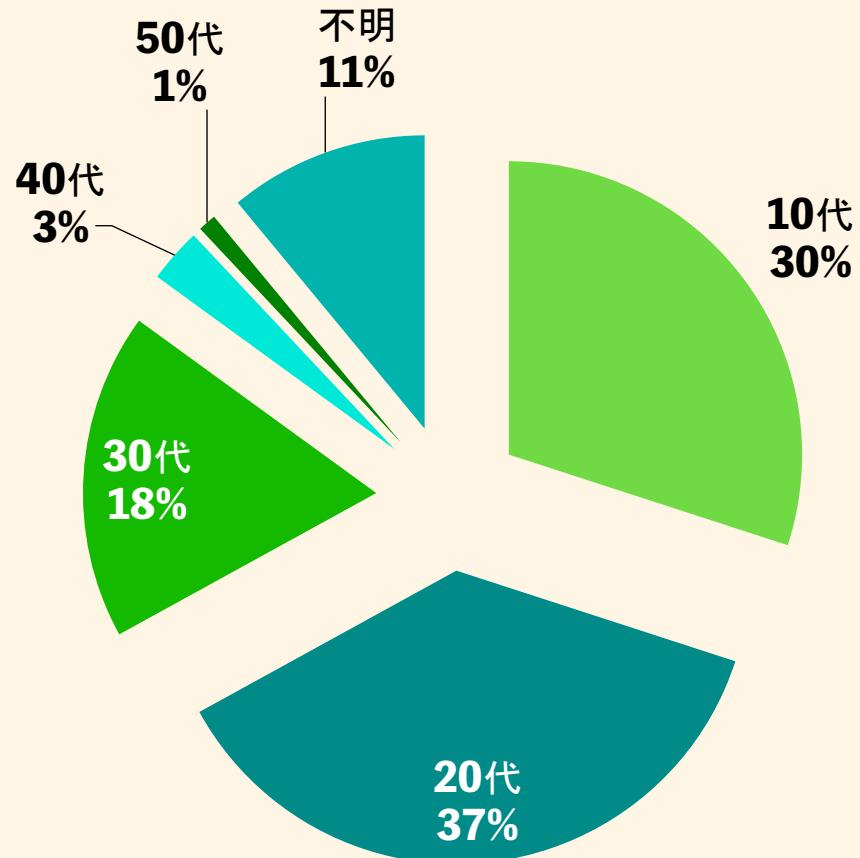
2018年度相談実績
新規相談者数 1029人
(延相談件数4862回)

全国から相談が寄せられる



Supported by THE NIPPON
Foundation

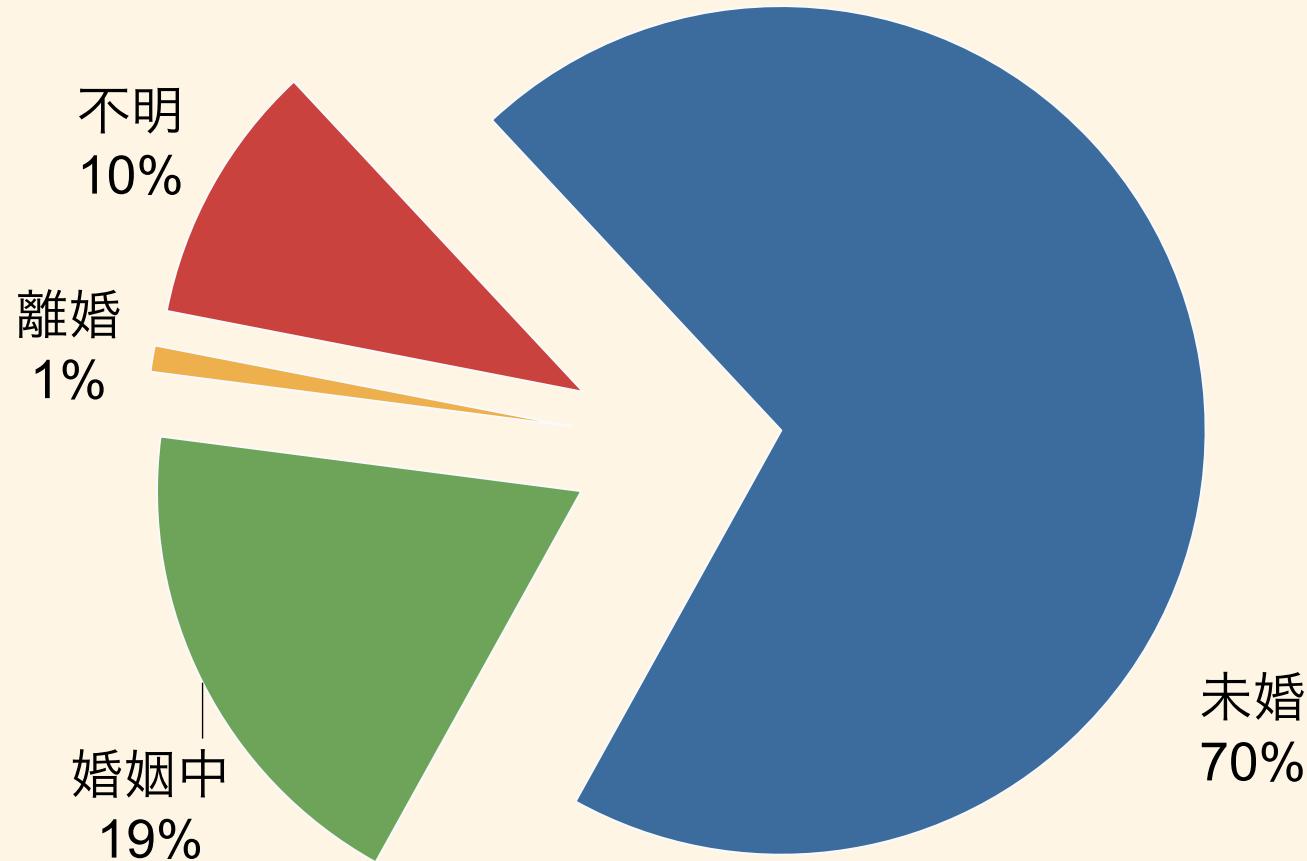
10代の相談者が全体の30%を占めている



男性からの相談も16%

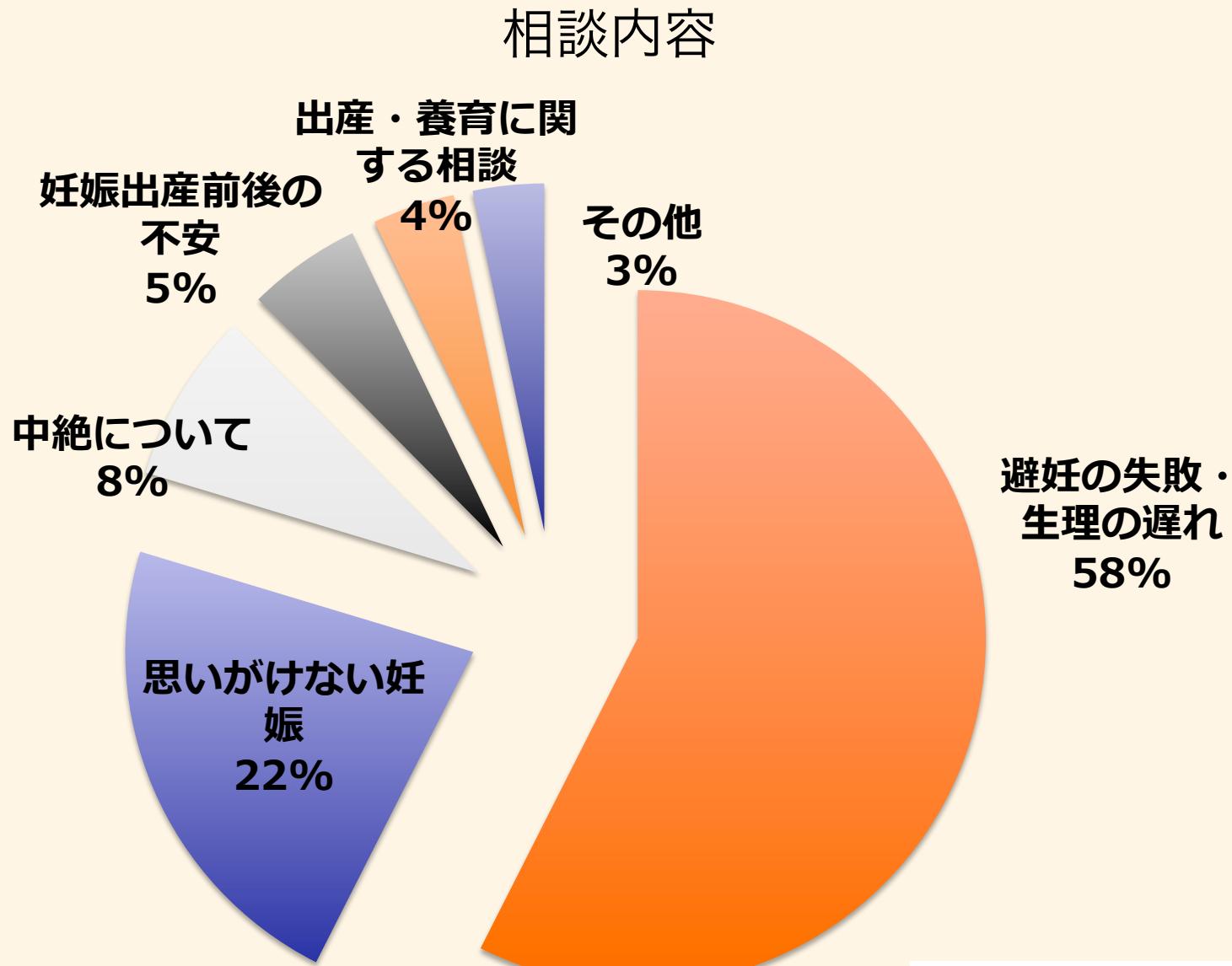
Supported by  日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

未婚者が70% 既婚者は19%



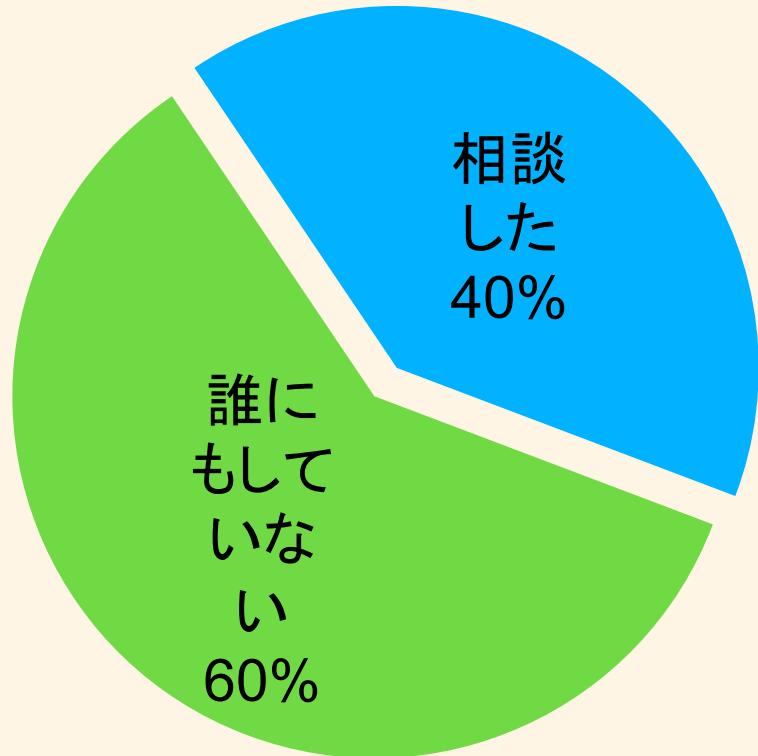
Supported by  日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

避妊の失敗・生理の遅れの相談が最も多い

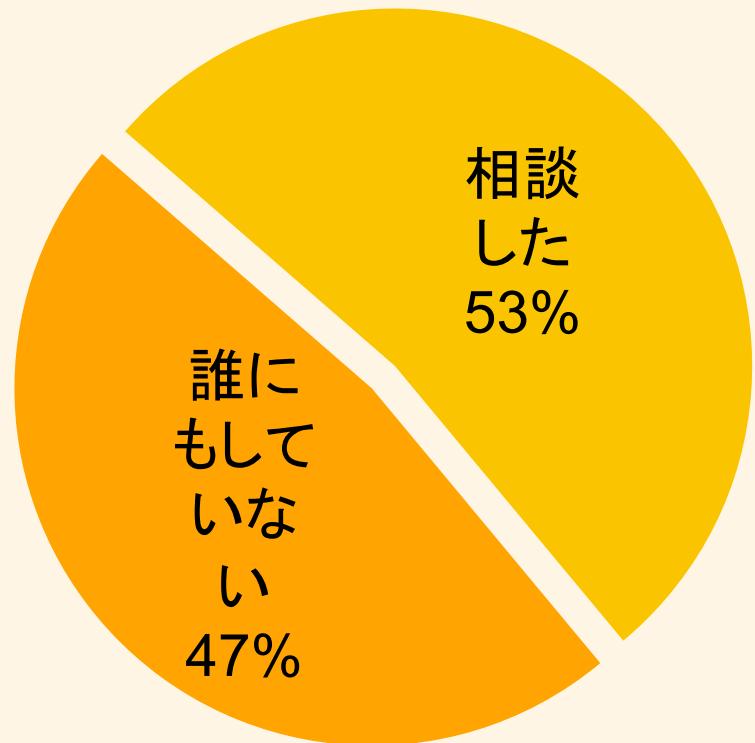


誰かに相談したか

10代



20代以降



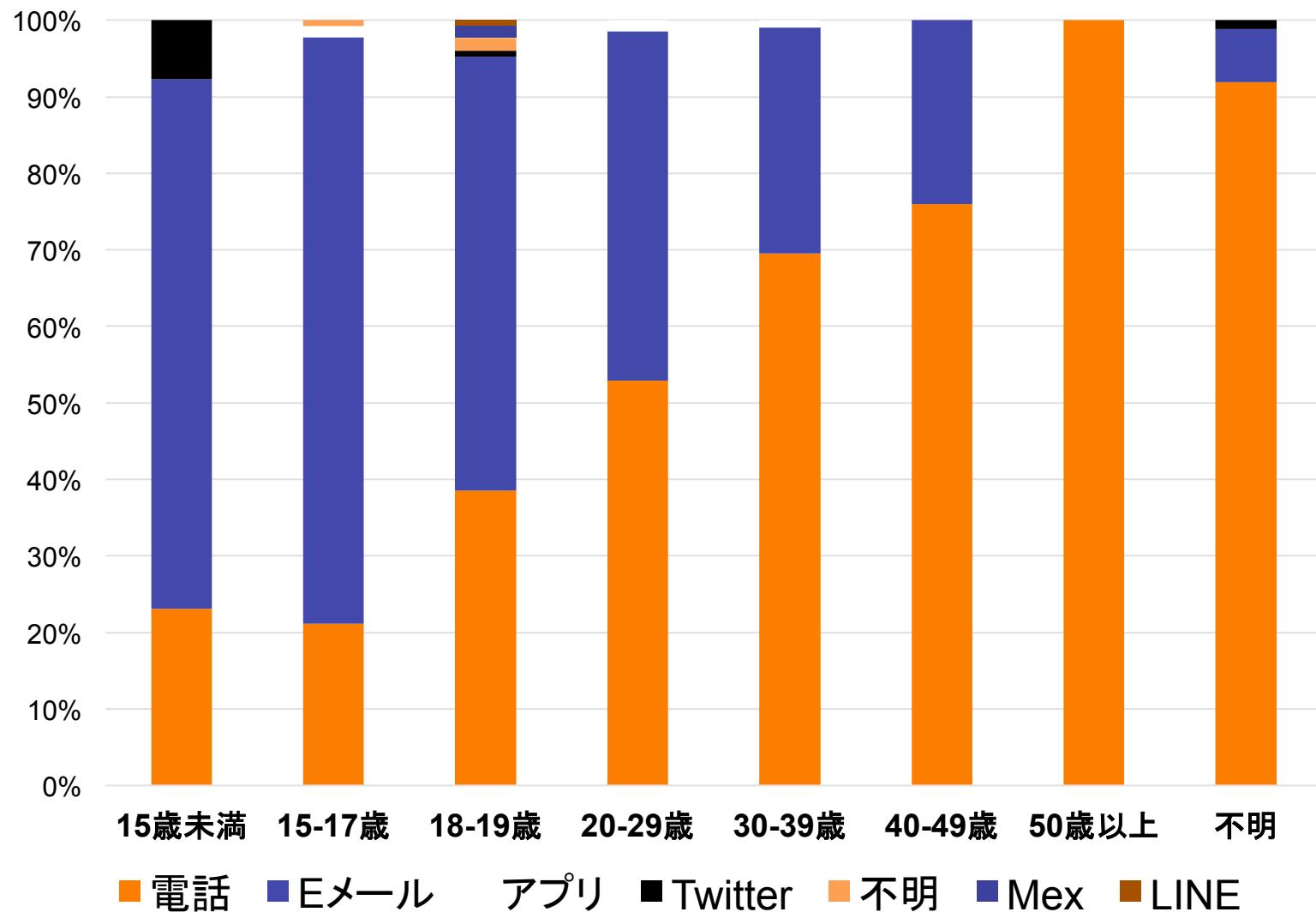
10代は誰にも相談できない相談者が多い

Supported by 日本 THE NIPPON
財團 FOUNDATION

若年層はテキストでの相談が多い



年齢別 相談経路



相談窓口から見えてきた相談者の背景

貧困

若年

シングルマザー

DV被害者

不安定な就労

機能不全家族

相手が妊娠に
対して無理解
拒絶

親または本人に
知的問題がある

田中哲（児童精神科医）

被虐体験

性被害の被害者



親または本人に
精神疾患がある

にんしんSOS 東京

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION



SOSをきっかけに
社会に居場所を作るには

HOMEがない

もっともハイリスクなケースは

安心で安全な居場所がない
住むところが定まっていない妊婦

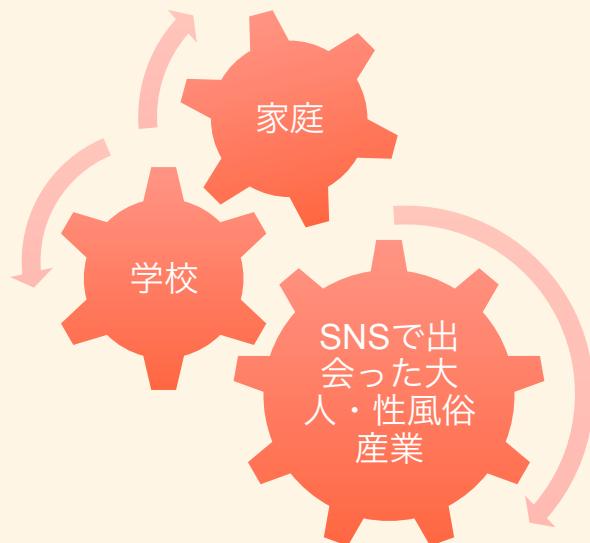


10代、高校生女子。

両親からの虐待、
学校でのいじめ、
中絶・性暴力の被害経験あり。

家庭も学校も機能不全を起こしている
相談相手の不在、、、

[裏福祉]に居場所を求める



What is your HOME ?



「安心できて
心地よくて
暖かいところが欲しい」

「秘密を守ってくれる場所」

「みんなで一緒に何かできる場所」



What is your HOME ?



若年妊婦、出産経験あり

思いがけず妊娠し、寮にいられなくなり、
ネットカフェで暮らしていた時に繋がった

無事に病院で出産したとしても
妊産婦支援施設、

母子生活支援施設での子育ての2年後に
支援施設を出なければならない。

その後の生活に
寄り添う存在の不在、、、



「妊娠何週でもいられる場所」

「休みの日に遊びに行ける、
子どもをちょっと見てくれる、
実家の代わりのような場所」

「自分のことを
知ってくれている誰かがいる場所」

「将来の相談ができる場所」



Project HOME

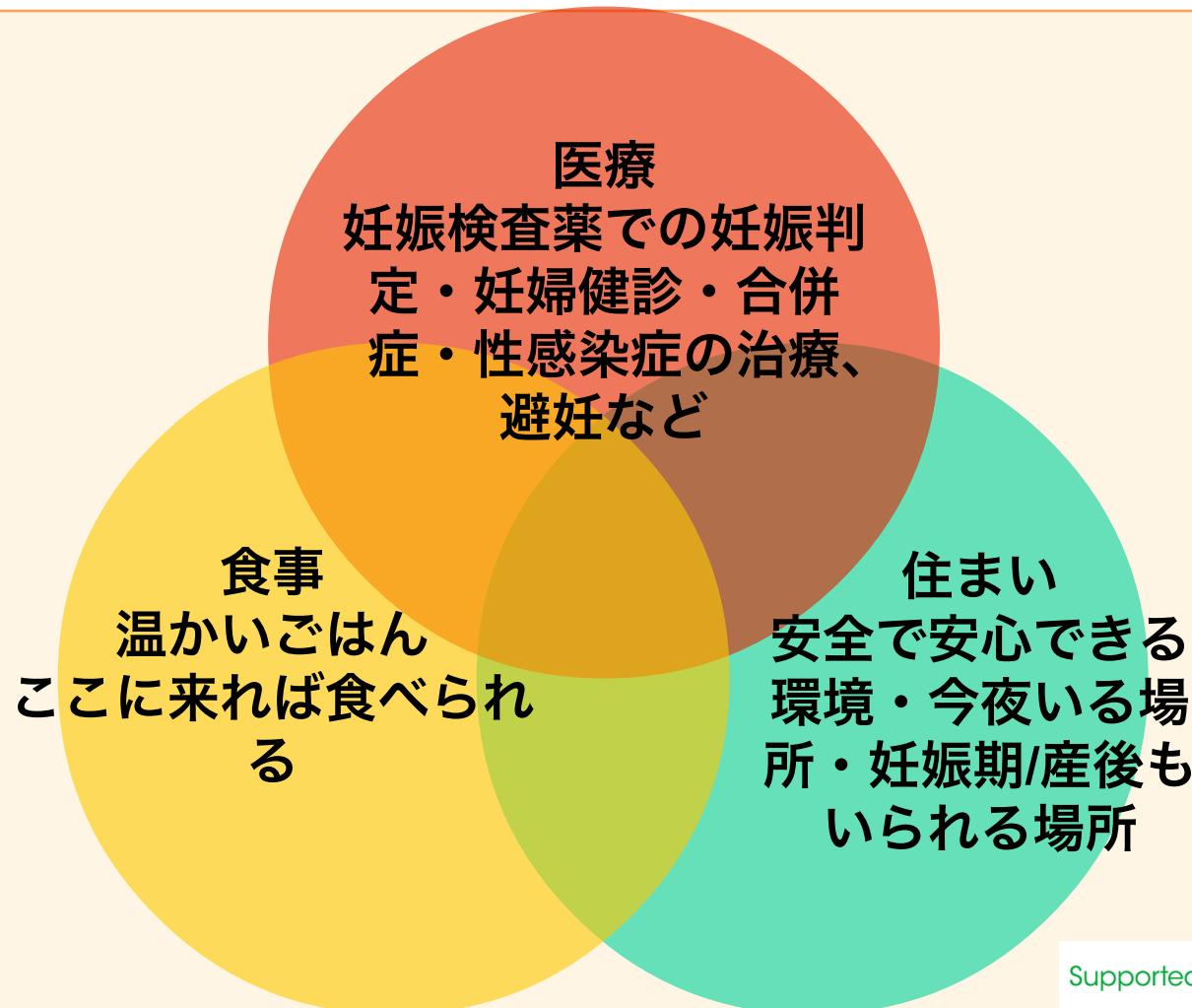
「漂流女子のための港のような居場所」

ワンストップ妊婦のための拠点作り

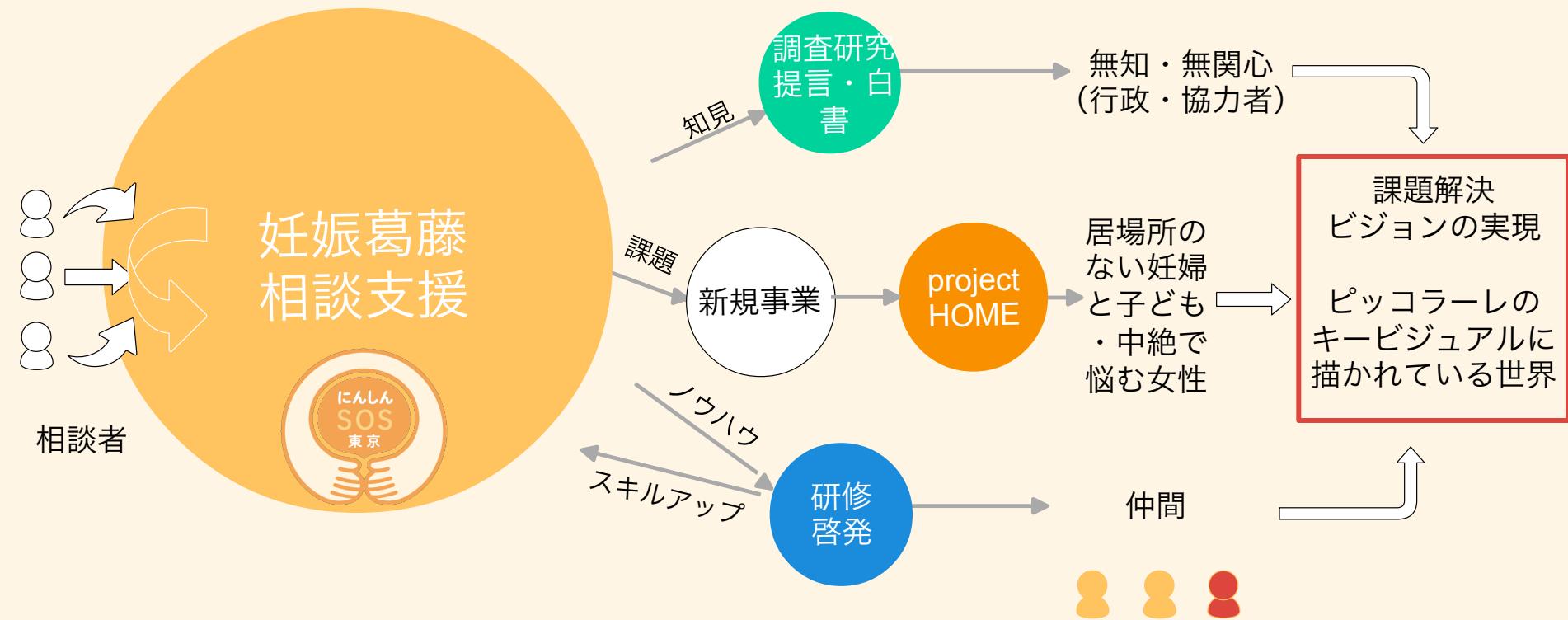
ペルソナA：頼れる実家や家族のない若年シングルマザー@ネットカフェ・友人宅を漂流している

ペルソナB：不適切な養育を受けており家にも学校にも居場所がない

孤立した10代女子@twitterやSNSで知り合った男性宅にいる



妊娠葛藤相談支援窓口に寄せられる声を 聞くことによって見えてきた 【課題】への取り組み





事業成果物：コールセンター、
電子カルテ、無料電話アプリ

クラウドコールセンター

Dashboard

妊娠SOS管理画面 ?

設定

妊娠SOS管理画面 ?

相談設定

早番開始時刻

16

遲番開始時刻

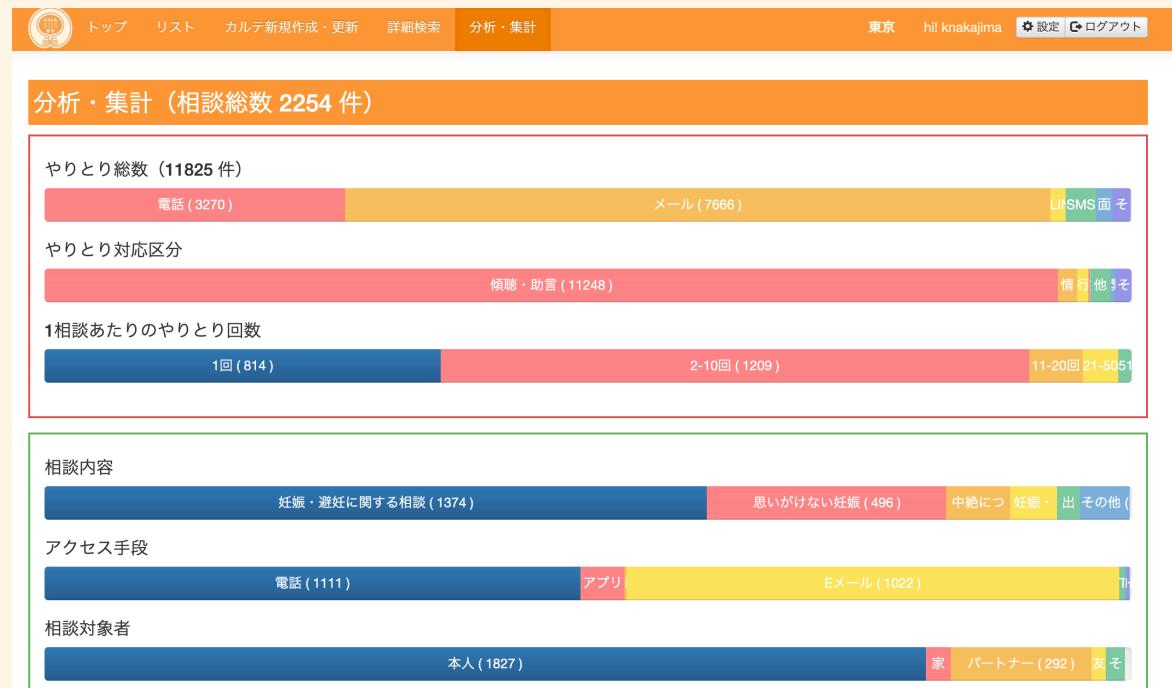
20

辯番終了時刻

23

設定を保存

相談記録カルテシステム



Supported by  日本 THE NIPPON FOUNDATION



無料電話アプリ（相談しやすい入り口）

「も
れないと…」



にんしんにまつわる全ての
「困った」、「どうしよう」に寄り添います

▼
相談は無料です 秘密は守ります

電話で相談する

050-3187-9870

16:00～24:00 年中無休・相談は無料です

※相談対応中はお電話がつながりにくいたこともあります。番号通知でかけていただいた方には、こちらから折り返させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

メールで相談する …

通話料無料で相談する

※カケホーダイでない方は、こちらのボタンを押して、出てくる画面の「電話をかける」ボタンを押していただければ、通話料無料で通信料だけでご相談いただけます。
ちらからどうぞ。

Supported by 日本 THE NIPPON FOUNDATION